

言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部  
2022 年度前期日程入学試験問題  
地理歴史（日本史）  
正解・配点・解答例（100 点満点）

1〔60点〕 単答 5点×8 + 論述 20点

問1 (1) 蔵屋敷〔5点〕 (2) 堂島米市場〔5点〕

問2 町火消〔5点〕

問3 享保の飢饉〔5点〕

問4 a 表店 b 裏店〔2つ正解で5点〕

問5 打ちこわし〔5点〕

問6 仲買〔5点〕

問7 明暦の大火（振袖火事）〔5点〕

問8〔20点〕

【解答例】

18 世紀前期は、物価高にもかかわらず米価安という現象が起きていた。こうした状態では、城下町に住み、百姓が納める年貢米を売った金で、生活に必要な物資を購入して暮らしていた武士は生活が困難となる。そこで幕府は、江戸や大坂で米を買上げさせ、米価を引き上げて、武士を救済しようとした。しかし、享保 17 年に西国で起きた虫害による凶作を契機に米価が高騰したため、江戸では米を買って生活する町人、とくに裏店に生活する貧しい人々は、米を購入することができなくなった。町人たちは、町奉行所に米価引下げを集団で訴訟し、他方で、幕府に協力して買米を行っていた米商人高間伝兵衛が打ちこわされるなど、江戸は不穏な情勢となった。これに対し、幕府は飢人に米を配り、米の流通ルートを変更し、江戸城の堀の浚渫工事をおこない飢人に現金収入を得させる政策をとった。8代将軍吉宗は、在職中、米価政策に注力したことから米公方とも呼ばれた。  
(396 字)

2〔40 点〕 単答 5 点×6 + 論述 10 点

問1 日英通商航海条約〔5点〕

問2 三国干渉〔5点〕

問3 砂川事件（砂川闘争）〔5点〕

問4 シベリア出兵（シベリア干渉戦争）〔5点〕

問5 石井＝ランシング協定〔5点〕

問6 隣組（隣保班）〔5点〕

問7

【解答例】

冷戦下において、当事者の一方であるアメリカや西側諸国のみと講和を結び、独立後の安全保障をアメリカに依存するという選択に反対し、ソ連・中国を含めた全連合王国との全面講和が望ましいと主張する人々がいたため。(100 字)